

# 広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/



## 法座のご案内

三月二十日(木・祝) 午後二時より  
春季彼岸会



## 今号の法語

いがみ合う  
世界から  
おがみ合う  
世界へ



## 今号の内容

- ・ 広濟寺探検隊！ ～墓地を歩く～
- ・ 仏事のQ&A ～お講～
- ・ 千夏のきときと日記
- ・ 住職コラム
- ・ 四月十九日(土)は広濟寺仏教婦人の集い



世界中がコロナに怯えた時代から、人間同士でいがみ合う「争い」が益々拡大し、世界中で「分断」が進む現在。トランプ大統領の再登場で、世界が「融和」に向かうのか、それとも・・・。

人間は昔から「争い」を繰り返してきました。お釈迦様の時代もそうです。しかし、だからこそ「教え」を尊び、「争い」と向き合ってきた歴史も人間にはあります。

お釈迦様の説かれたお経には「当相敬愛」とあり、「お互いに敬い合う」ことこそ大切であると説かれます。

仏教徒は仏様を拝みますが、「拝む」とは心から「敬う」ということです。お互いに心から敬い合う世界へ。決して簡単なことではないですが、それが説かれた次の時代へと伝えられてきた背景を思う時、「争い」に苦しんだ先人たちの深い悲しみを思わずにはいられません。先を歩まれた方々からの願いともいえるべき「教え」を、これからも大切に聞いていきたいと思えます。

左手前のお墓がおよそ400年前からのお墓



# 広濟寺探検隊！

## 墓地を歩く

日に日に暖かくなり、雪に閉ざされていた墓地にも春の季節がやってきました。  
お墓たちは。判読できる一番古いお墓には「慶安四年（一六五二年）善徳七代之廟」とあります。

基本的には区画整理されているので整然と並んでいるのですが、中寺は一四五二年に笹川の地にほどに進むと、昔からの面影が残っているエリアがあります。

今のように背の高いお墓ではなく、少し小さめで趣きのあるお墓たち。判読できる一番古いお墓には「慶安四年（一六五二年）善徳七代之廟」とあります。

広濟寺の寺伝によれば、広濟寺は一四五二年に笹川の地に移ってきたそうで、善徳ほか十数名と六町余りを開墾し堂宇を建立した、と記されています。まさにその「善徳」さんにまつわるお墓なのでした。

他のお墓も古いものばかりで、今では持ち主も曖昧な状況。百年以上前に北海道に開拓に行かれたままのお墓も何基か残っています。  
いつかは整備していかねければなりません。昔からのお墓の風景は、どこか懐かしく、心が和まされる思いがします。

# 仏事の疑問 Q & A

## 質問 お講って何ですか？

「お講」という言葉、聞いたことはありますか？少し前までは、各地で「尼講」や「村お講」をよく耳にしました。「頼母子講」など、仏教的な集まりに限らず用いられています。  
「講」は本来、「仏様の教えを聞き、語り合う集まり」のことでした。浄土真宗を爆発的に広めた蓮如上人は、この「講」を強く勧めた方です。教えを聞き、語り合うことで、教えが生活の中に生きてくる。語り合うからこそ、教えもますます深まり広まっていったのです。  
そうして地域社会や信仰生活に

根ざした「講」は、僧侶やお寺ではなく、地域の方が主体となり運営され、実に五百年以上にわたり教えを、そして地域を紡いできました。  
広濟寺のある川東地域（東五位）立野（小勢周辺）には、「平等講」という「お講」があります（川西地域は「二十五日講」。現在も地域の方々のご



尽力により護持されておられ、教えを聞く場としてはもちろん、地域社会のコミュニケーションとして「講」は大きな役割を果たしてきました。  
皆さんの近くにはどんな「お講」がありますか？また教えてくださーいね♪

# 千夏ちなつのきときと日記

先日みのもんたさんが亡くなられたニュースを見ました。

私の世代は、小さい時から昼は生放送、夜はクイズ番組やバラエティー番組、みのもんたさんを見ない日はなくらい活躍されていました。二〇〇六年には『一週間で最も多くの生番組に出演した司会者』としてギネス世界記録に認定されました。

そのような多忙な生活を送られていたみのもんたさんの信念が「暑い。寒い。眠い。疲れた。この四つの言葉は絶対に言わない」だったそうです。

私なんて朝起きた時から寝



るまで、絶対にこの四つの言葉は何回も何回も言っています。

この四つの言葉は仏教で言えば愚痴といえます。愚痴は代表的な三つの煩惱の内の一つで、目さきものにとらわれて、真理を解する能力のない愚かな心を指すそうです。  
※残りの二つは、貪欲(もつと欲しいなあという貪りの心)、瞋恚(怒りの心)。

愚痴がこぼれる毎日を過ごしている私ですが、そのような私に仏様は常に寄り添ってくださいてください。有難いけど、申し訳ないような…。ごめんなさいね、仏様。



## 住職コラム

先月中旬の大雪にはびっくりしました。

寺の周りには屋根も樹木も一面真っ白。全国的にも大雪となり、そのニュースばかり。近所のご門徒さんが朝早くから除雪してください、おかげで寺の駐車場はいつでも五・六台は駐車できる状態にしてくださいました。ありがとうございます。

寺の向拝(本堂正面)横にレモンの樹の鉢植えがあり、そこに昨年「モズのはやにえ」が見



られました。「モズ」という鳥がカエルとかトカゲ、ヘビを枝にさして放っていくわけですが、今はカエルだけが残っています。自然界の不思議ですが私が知らないだけ…。金子みすずさんの詩に出てくる「見えぬけれどもあるんだよ」という感じですね。

まもなく暖かい春がやってきますが、それでも風邪に気を付けてくれぐれも大事になさってください。

合掌 なまんだぶ





# 四月十九日(土)は

## 広済寺仏教婦人の集い

今年も広済寺仏教婦人の集いの季節がやってきました。爽やかな春に開催している毎年の行事です。

昨年は風呂敷教室をしましたが、果たして今年は？現在鋭意企画中です！

日時は、四月十九日(土)午後一時半から。会費として、一〇〇〇円をお願いしています。美味しいケーキを食べながら



のティータイムも人気です♪

お寺で楽しくゆったりと過ごしてもらえよう、皆さんにアイデアをいただきながら、毎回バージョンアップ中ですよ。

皆さんのご参加をお待ちしています！申し込みはお寺まで(電話・LINE等)。

### お知らせ

令和七年

春季彼岸会

三月二十日(木・祝)

午後二時より

法話 当寺 若院

蓮門会

四月六日(日)

午後三時より

場所 麻生谷 西光寺

広済寺仏教婦人の集い

四月十九日(土)

午後一時半より

会費 一〇〇〇円

御講師

川上組 浄教寺

立川 証師

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後一時半より

※四月は休会します



## 編集後記

毎朝六時に撞かせていただいている朝の鐘。一年を通して同じ時間なので、季節のうつろいを感じられます。

最近はずつかり明るくなってきたのですが、残雪の中、寒さは相変わらず。

先月のことでした。まだ薄暗く雪の降る中、「ホーホケキヨ」の鳴き声。寒い日だったのでビックリしましたが、ウグイスの鳴き声に確かな春の訪れを喜ばせてもらいました。

浄土真宗中興の祖といわれる蓮如上人は、このウグイスの鳴き声を「法を聞けよ」との仏様からの呼び声であると喜ばれたそうです。

確かなものに気づかせられた時、不安の中でも力強い励ましをいただきます。「春告鳥」といわれる毎朝のウグイスの鳴き声が、春を清々しく彩ってくれています。